

令和8（2026）年度

「運営に関する計画」

大阪市立南津守小学校

令和8（2026）年4月

大阪市立南津守小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学校教育目標「学ぶ意欲を持ち、自他を大切にする子どもを育てる」のもと、子どもたちが学ぶ楽しさを実感し、互いを認め合いながら安心して学校生活を送ることができる学校づくりを進めている。これまで、仲間づくりや人権教育、道徳教育、日々の授業改善、体育的活動の充実、ICT機器の活用等を通して、子どもたちの学びと育ちを支えてきた。

令和7年度の大阪市小学校学力経年調査では、「自分には、よいところがあると思いますか」に対する肯定的回答は74.5%であり、自分のよさや成長を実感できる働きかけをより一層進める必要がある。また、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対する肯定的回答は64.2%にとどまっており、子どもが安心してSOSを出せる関係づくりや校内支援体制の充実が求められる。加えて、不登校や遅刻の課題については、これまでの登校支援や校内教育支援の取組に一定の成果はみられるものの、継続的かつ組織的な対応が必要である。いじめを許さない意識については高い水準にあるが、引き続き未然防止と早期発見・早期対応を今後も徹底していく必要がある。

学力・体力の面では、基礎学力の定着と、対話を通して考えを深める授業づくりが課題である。令和7年度最終評価では、大阪市小学校学力経年調査の結果より、一定の成果があった学年がある一方で、目標に達していない学年もあった。そのため、個に応じた支援や学力の二極化を防ぐ手立ての強化が必要である。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」において、最も肯定的な回答は40.2%で、話し合い活動は一定程度行われているものの、考えを深めたり広げたりすることが十分にできていない状況が見られる。今後は、書く・考える時間の保障や発問の工夫、全員が参加できる話し合いの仕組みづくりを通して、授業改善を一層進める必要がある。

体力・運動習慣の面では、体育科の授業改善や外遊びの啓発、たてわり活動等の取組を進めてきたが、令和7年度最終評価では、小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対する最も肯定的な回答が62.7%だった。校内調査では一定の改善がみられるものの、運動に消極的な児童も含め、誰もが楽しく体を動かし、継続して運動に親しめる取組を進めていく必要がある。

学びを支える教育環境の面では、ICT機器の活用は学習意欲の向上や授業のわかりやすさにつながっており、日常的な活用も進んでいるが、小学校学力経年調査における「授業でパソコン(一人一台端末)をどれくらい使っていますか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合は50.5%にとどまっており、学習者用端末の活用状況は依然として十分とはいえない。そのため、様々

な学習場面での活用を一層進めていく必要がある。

また、すべての学習の基盤となる読解力の育成に関わる読書については、小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対する肯定的回答が61.3%にとどまっており、読書に対する意識の向上や日常的に本に親しむ態度の育成が課題である。

教職員の超過勤務の縮減は依然として課題であり、業務の精選やICTの効果的な活用、情報共有の効率化、組織的な役割分担を進めるとともに、タイムマネジメントを意識した持続可能な学校運営の実現に取り組む必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

児童が安心して学校生活を送り、自他を大切にしながら主体的に学ぶことができる環境を整えるため、自己肯定感の向上と相談しやすい関係づくりを推進するとともに、不登校児童への組織的な支援体制を充実させる。

- 大阪市小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、令和 11 年度末までに現状値から 5 ポイント以上向上させる。【R7:74.5%】
- 大阪市小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、令和 11 年度末までに現状値から 5 ポイント以上向上させる。【R7:64.2%】
- 不登校児童について、個々の状況に応じた支援を行い、登校状況の改善を図る。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、話し合い活動等を通して、自らの考えを深め、広げることができる授業づくりを推進する。また、運動に親しむ態度を育成し、児童一人ひとりが主体的に体を動かす習慣の定着を図る。

- 大阪市小学校学力経年調査における国語の標準化得点について、同一母集団において経年的に比較し、令和 11 年度末までに、令和 7 年度の値より向上させる。
【R7:3年 99.3 4年 96.8 5年 100.6】
- 大阪市小学校学力経年調査における算数の標準化得点について、同一母集団において経年的に比較し、令和 11 年度末までに、令和 7 年度の値より向上させる。
【R7:3年 98.8 4年 97.6 5年 99.3】
- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を、令和 11 年度末までに現状値から 5 ポイント以上向上させる。
【R7:40.2%】
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を、令和 11 年度末までに現状値から 5 ポイント以上向上させる。【R7:62.7%】

【学びを支える教育環境の充実】

ICT 機器や教育データの活用を通して、個に応じた指導の充実と業務の効率化を図るとともに、教職員の働き方改革を推進し、持続可能な学校運営体制の構築をめざす。また、組織的な協働体制を強化し、教職員一人ひとりが力を発揮できる学校づくりを進める。

- 小学校学力経年調査における「授業でパソコン（一人一台端末）をどれくらい使っていますか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を令和 11 年度末までに現状値から 10 ポイント以上向上させる。【R7:50.5%】
- 大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、令和 11 年度末までに現状値から 10 ポイント以上向上させる。【R7:61.3%】
- 教職員の時間外勤務について、令和 11 年度末までに、令和 7 年度の値より減少させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。

【R7:64.2%】

・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

【R7:3年0.90 4年0.89 5年1.04】

・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

【R7:3年0.92 4年0.95 5年1.01】

・小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を2ポイント以上向上させる。【R7:40.2%】

・小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を2ポイント以上向上させる。

【R7:62.7%（経年調査）】 【R7:72.8%（校内調査）】

【学びを支える教育環境の充実】

・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を53%以上にする。【R7:50.5%】

・小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を64%以上向上させる。

【R7:61.3%（経年調査）】

・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を85%にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立南津守小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。【R7:64.2%】 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童一人ひとりとの関わりを大切にし、安心して相談できる人間関係づくりを進める。また、児童の様子を丁寧に把握し、早期に声かけや支援につなげる取組を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>大阪市小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を2ポイント以上向上させる。【R7:64.2%】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校や登校しぶりの児童に対して、学年・管理職・関係機関等が連携しながら、個に応じた支援を行うとともに、スペシャルサポートルーム等の活用を通して、安心して過ごせる居場所づくりを進める。</p>	
<p>指標</p> <p>年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳教育や人権教育の充実、日々の授業や学校行事等を通して、児童が自分のよさや成長を実感できる機会を意図的に設定し、自己肯定感の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>大阪市小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を2ポイント以上向上させる。【R7:74.5%】</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立南津守小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市小学校学力経年調査における国語の標準化得点について、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 【R7:3年 99.3 4年 96.8 5年 100.6】 ・大阪市小学校学力経年調査における算数の標準化得点について、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 【R7:3年 98.8 4年 97.6 5年 99.3】 ・大阪市小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 2 ポイント以上向上させる。【R7:40.2%】 ・大阪市小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 2 ポイント以上向上させる。 【R7:62.7% (経年調査)】 【R7:72.8% (校内調査)】 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童一人ひとりの学習状況を把握し、日々の授業において基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、個に応じた指導を行う。</p> <hr/> <p>指標①</p> <p>大阪市小学校学力経年調査における国語の標準化得点について、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 【R7:3年 99.3 4年 96.8 5年 100.6】</p> <hr/> <p>指標②</p> <p>大阪市小学校学力経年調査における算数の標準化得点について、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 【R7:3年 98.8 4年 97.6 5年 99.3】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>話し合い活動を位置づけた授業づくりを進め、児童が自分の考えを表現し、他者の考えと比較することで、考えを深めたり広げたりできる学習活動の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>大阪市小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 2 ポイント以上向上させる。【R7:40.2%】</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業の充実や外遊びの啓発、たてわり活動等を通して、児童が運動に親しみ、主体的に体を動かす習慣の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>大阪市小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を2ポイント以上向上させる。</p> <p>【R7:62.7%（経年調査）】 【R7:72.8%（校内調査）】</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立南津守小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市小学校学力経年調査における「授業でパソコン（一人一台端末）をどれくらい使っていますか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を3ポイント以上向上させる。【R7:50.5%】 ・大阪市小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3ポイント以上向上させる。 【R7:61.3%（経年調査）】 【R7:67.7%（校内調査）】 ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を85%にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>ICT機器（一人一台端末）を活用した授業づくりを進め、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう指導方法の工夫改善を図る。また、日常的にICTを活用することで、学習内容の理解を深める。</p> <p>指標</p> <p>大阪市小学校学力経年調査における「授業でパソコン（一人一台端末）をどれくらい使っていますか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を3ポイント以上向上させる。【R7:50.5%】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>図書室の活用や読書活動の充実を図るとともに、朝読書や読み聞かせ等の取組を通して、児童が日常的に本に親しむ環境づくりを進める。</p> <p>指標</p> <p>大阪市小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3ポイント以上向上させる。 【R7:61.3%（経年調査）】 【R7:67.7%（校内調査）】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・働き方改革】</p> <p>学校閉庁時刻を19時（週に1回は18時）に設定することで、タイムマネジメントを意識した働き方改革を行う。</p> <p>指標</p> <p>1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない教職員の割合を85%以上にする。 【R7:82.8%】</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	